



2026 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社京都ホテル
代表者名 代表取締役社長 清水 博
(コード：9723 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経理部長 井手 章
(TEL：075-211-5111)

取締役会の実効性評価の結果の概要に関するお知らせ

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の一層の機能強化を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

全取締役・全監査役を対象に、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明の上、調査票を配布し、無記名にて全員から回答を得ました。その上で、当社による当該回答の集計・分析を踏まえ、取締役会における報告・質疑応答を通じて、2026 年 3 月期における当社取締役会の分析・評価を実施いたしました。

2. 評価項目

調査票における、大項目は以下のとおりであり、各質問に対するコメント欄および自由意見欄も設けました。

- (1) 取締役会の役割・機能
- (2) 取締役会の構成・規模
- (3) 取締役会の運営
- (4) 内部監査部門との連携
- (5) 社外役員とのコミュニケーション

3. 分析・評価結果の概要

当社取締役会においては、経営に関わる重要な事項が適切に審議されるとともに、経営戦略や経営計画等について中長期的な視点から建設的な議論が行われております。また、自由闊達な議論・意見交換を尊ぶ気風が醸成され、内部監査部門との連携も確保されていることから、当社取締役会の実効性は確保されているものと評価いたしました。

一方で、取締役会の実効性を一層向上させるため、各役員に適合したトレーニング機会の充実や、リモート開催の活用を含めた運営面の高度化について、今後取り組むべき課題として認識されました。

なお、取締役会構成員の多様性の確保も従前から課題として認識されていたところですが、本日内定いたしました役員の異動（社外取締役の追加）は、この課題解決に資するものと考えております。

4. 今後の対応

当社では、上記の分析および評価の結果を踏まえ、引き続き取締役会の実効性の維持・向上に取り組んでまいります。

以 上